

防災だより

12月号

発行 加古川グリーンシティ防災会 〒675-0063 兵庫県加古川市加古川町平野 24-1 電話(079)425-6852 www.greencity.gr.jp

「もしもガイド」を解説

大地震が発生！その時「あわてず、落ち着いた行動」が重要です。今回は**地震発生時の基本となる行動指針**をお伝えします。あくまでもパターンのひとつなので、実際の災害時は状況に応じて対応しましょう。

① 緊急地震速報が流れた！

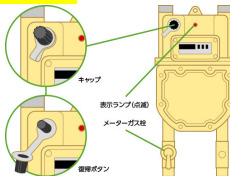
強い揺れに襲われるまで、数秒から数十秒あります。住居内にいる場合は、家族で決めている**絶対的安心場所**へ移動します。しかし、直下型地震の場合、緊急地震速報は間に合わず、遅れて報知されるので注意！

② 自分と自分の大切な人の安全確保！

大きな揺れを感じたら、自分の身を守る行動を最優先にします。「**地震がくるぞ**」家族や周りの人に判るよう大声で**絶対的安心場所**へ移動しましょう。転倒の恐れがあるので、移動後は身を低くして頭を守ります。エントランスや建物近くにいた場合は、窓ガラスが降ってくる可能性があるため建物から離れてください。**※車が多く走る道路側に避難する場合、周囲の状況を確認しながら避難行動をとる必要があります。建物内に逃げ込んだ方が安全な場合もあります。**

③ 揺れがおさまったら、火の元の確認！

震度5相当以上の揺れの場合は、マイコンメーターが動き、ガスの供給を自動的に遮断します。揺れを感じ、あわてて火を消そうとして大火傷する場合がありますので、揺れがおさまってからコンロを「消す」にしましょう。



④ 避難路の確保！

揺れがおさまってから、玄関や窓を開けましょう。



⑤ ライフラインの安全対応！

電気のブレーカーを落とします。ガスや水道の元栓も閉じます。ガスの臭いがしたときは、窓を開けて換気しましょう。電気・水道・ガスは安全確認ができるまで使用を控えることが重要です。

大きな揺れを感じたときは、管理組合からの排水管の状況確認完了までトイレはできる限り使用せず簡易トイレで対応することを心掛けてください。

⑥ 家族の安否確認！

災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話各社の「災害用伝言板」、LINE・Facebook・TwitterなどのSNSを利用しましょう。ただし、通常の電話回線は混み合うので利用を控えてください。

⑦ 情報の収集！

あせらず「正しい情報」の収集に心がけましょう

⑧ 玄関ドア外に安否確認マグネットシートで表示！

揺れがおさまった時点で「在宅」「在宅傷病者あり」「避難済」を貼りましょう。

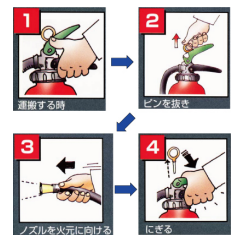


⑨ 救助要請あり！

救助の求めがある場合、要救助者宅を特定し救助要請や救助方法を考えましょう。

⑩ 火災発生！

火災発生の場合、消火を優先しますが屋内消火栓が起動しない可能性もあるので、消火器や消火剤で初期消火をしましょう。



⑪ マンションの情報を入手！

各階エレベーターホール、各棟1階エントランスホール、管理事務所前に集まり情報を入手しましょう。インターホンでご近所さんの安否も確認しましょう。

⑫ 在宅避難または避難所への移動！

可能な限り住み慣れた自宅での生活を確保することが基本です。判断としては、建物の構造に深刻な被害が生じた場合、自宅での生活をあきらめ避難所へ避難をします。避難をする場合は、玄関ドア外に「避難済」マグネットシートを忘れずに貼りましょう。

⑬ 管理組合の理事を緊急招集！

建物の損傷把握に管理組合理事を緊急招集しましょう！その際、マンションの状況を確認しながら、管理事務所に向かいましょう。管理会社とも連携し被害状況を把握しましょう。



⑭ 自治会の役員を緊急招集！

民生委員さんと協力し、要援護者を把握し確認しましょう。

⑮ 不安やイラだっていても怒鳴らない！

その場で対応している全員が、**あなたと同じ被災者であることを忘れてはいけません！**あなたの身勝手な行動や言動が、マンション全体の復旧を遅らせます。もし不安なら「お手伝いをしましょう」。手伝うことで情報の入手が早くなります。

⑯ 防犯が手薄！

災害発生時こそ、声掛けや挨拶が重要です！お互いに声を掛けあい、安全安心をみんなで確保しましょう。

⑰ できることをやる！

あなたにできることは「**あなたにしか判りません**」。あなたにできることを探しましょう。災害発生時は「**お互いさま**」を忘れずに行動することが重要です！